

シニアマーケットの現状

人口

平成 23 年版高齢社会白書*1 によると、65 歳以上の高齢者人口は過去最高の 2,958 万人（前年 2,901 万人）で、男性は 1,264 万人、女性は 1,693 万人です。総人口に占める 65 歳以上人口の割合は 23.1%（前年 22.7%）と高齢化率が高まっており、5 人に 1 人が高齢者という状況になっています。

高齢者人口は、いわゆる「団塊の世代」（昭和 22 年～24 年に生まれた人）が 65 歳となる平成 27 年には 3,000 万人を超え、2040 年頃までは増え続けると予想されています。

		平成22年10月1日			平成21年10月1日		
		総数	男	女	総数	男	女
人口 (万人)	総人口	12,806	6,236 (性比) 94.9	6,570	12,751*	6,213 (性比) 95.0	6,538
	高齢者人口(65歳以上)	2,958	1,264 (性比) 74.7	1,693	2,901	1,240 (性比) 74.7	1,661
	65～74歳人口(前期高齢者)	1,528	720 (性比) 89.0	808	1,530	720 (性比) 89.0	809
	75歳以上人口(後期高齢者)	1,430	545 (性比) 61.5	885	1,371	520 (性比) 61.0	852
	生産年齢人口(15～64歳)	8,152	4,102 (性比) 101.3	4,050	8,149	4,101 (性比) 101.3	4,048
	年少人口(0～14歳)	1,696	869 (性比) 105.2	827	1,701	872 (性比) 105.1	829
構成比	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	高齢者人口(高齢化率)	23.1	20.3	25.8	22.7	20.0	25.4
	65～74歳人口	11.9	11.5	12.3	12.0	11.6	12.4
	75歳以上人口	11.2	8.7	13.5	10.8	8.4	13.0
	生産年齢人口	63.7	65.8	61.6	63.9	66.0	61.9
	年少人口	13.2	13.9	12.6	13.3	14.0	12.7

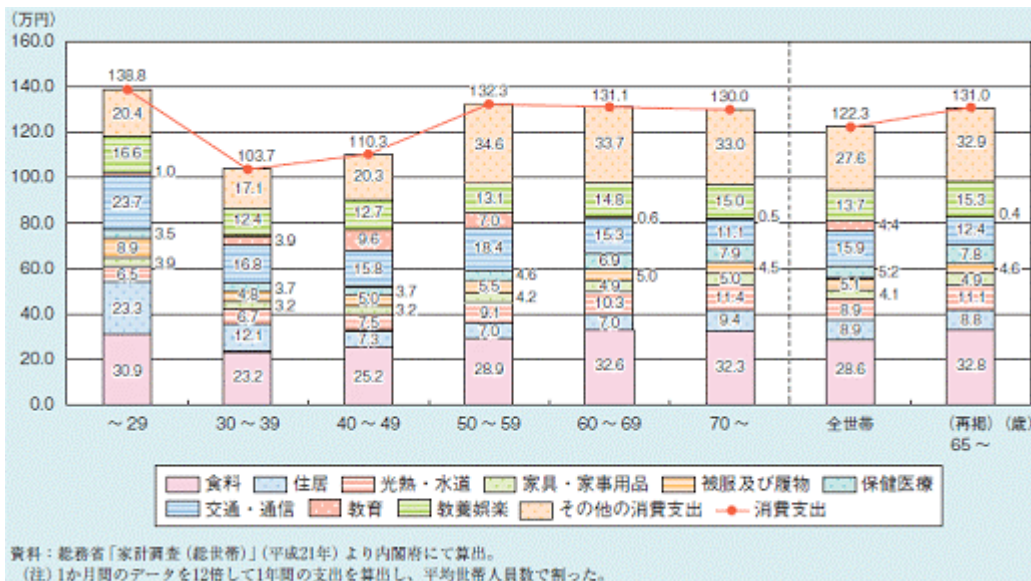
資料：総務省「人口推計」（各年10月1日現在）
 (注1) 平成21年は「平成17年国勢調査」、平成22年は「平成22年国勢調査人口速報集計」による人口を基準としている。
 (注2) 「性比」は、女性人口100人に対する男性人口
 *平成22年国勢調査人口速報集計結果を基に適宜的に補正した暫定値は12,803(万人)

高齢化の現状（平成 23 年版高齢社会白書より）

高齢者の所得経済状況

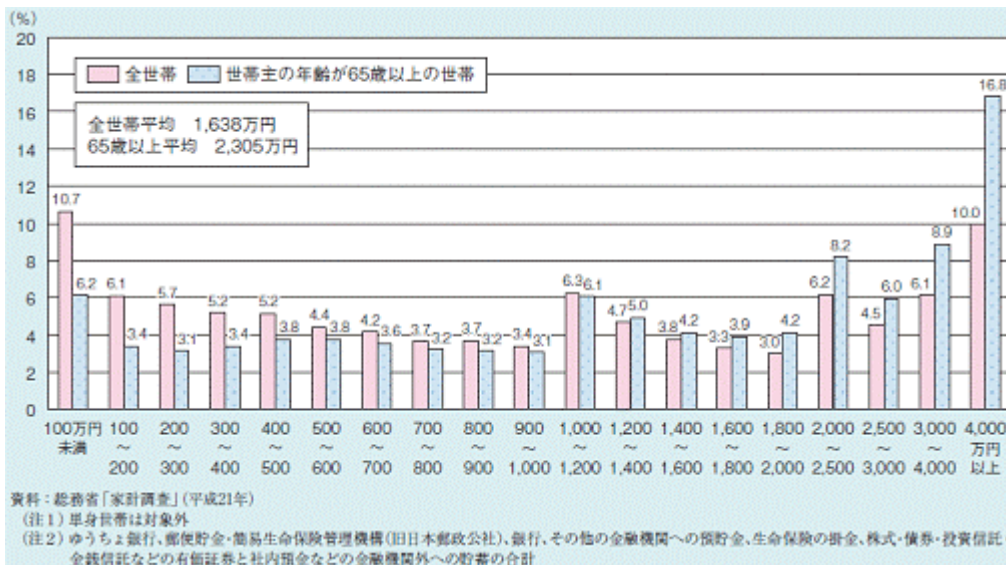
高齢者世帯の平均年間所得は 297.0 万円で、全世帯平均（547.5 万円）の半分強となっています。世帯人員一人当たりでは、高齢者世帯の平均世帯人員が少ないことから、192.9 万円となり、全世帯平均（208.4 万円）との間に大きな差はみられません。

世帯主が 65 歳以上の世帯の一人当たりの支出（年間）については 131.0 万円で、全世帯平均の 122.3 万円を上回っています。



世帯主の年齢階級別世帯人員一人当たりの1年間の支出(平成23年版高齢社会白書より)

世帯主が65歳以上の世帯の平均貯蓄額は、2,305万円で、全世帯平均1,638万円の約1.4倍、4,000万円以上の貯蓄を有する世帯主が65歳以上の世帯は16.8%であり、全世帯(10.0%)の1.7倍に近い水準となっています。



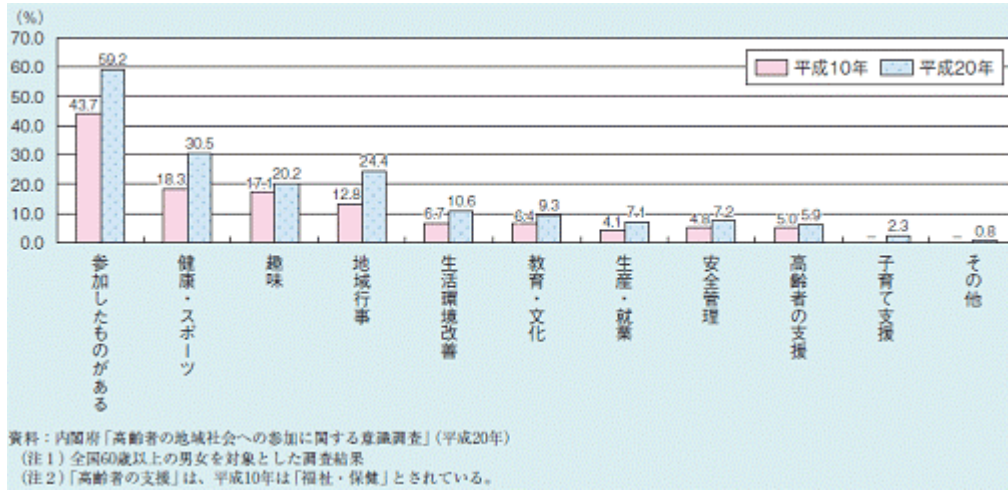
貯蓄現在高階級別世帯分布(平成23年版高齢社会白書より)

高齢者の社会参加活動

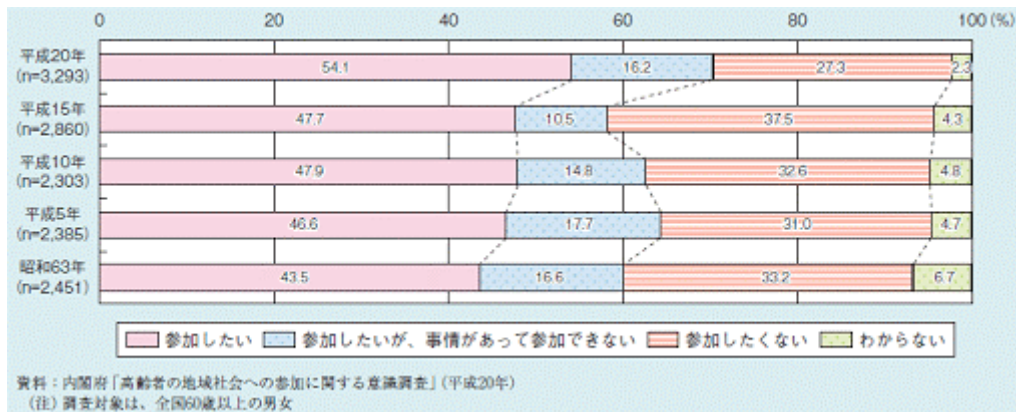
60歳以上の高齢者の59.2%は何らかのグループ活動に参加しており、10年前と比べて15.5ポイント増加しています。

今後の参加意向について、「参加したい」(「参加したい」、「参加したいが、事情があつて参

加できない」と回答した人の計) と考える人は 70.3%となっており、過去の調査と比較しても増加しています。



高齢者のグループ活動への参加状況 (平成23年版高齢社会白書より)



高齢者のグループ活動への参加意向 (平成23年版高齢社会白書より)